

主催【島根県隠岐の島町】【島根労働局ハローワーク隠岐の島】共催【隠岐の島町商工会】

若年者層に地元企業の魅力を継続的にアピールする仕組みを構築！

～在学中のイベント、成人式を活用したPRなどを実施～

【目的】

若年者層に対する継続的な地元企業の魅力発信を行い、若年者の地元定着を目指す！

人口減少に伴い、高齢化が顕著となっていることから、地元企業で働く若者を増やすことが必要である。そこで、「**高校生の時期**」に地元企業が集まるイベントを開催するとともに、「**進学後**」の「**帰省時期（成人式等）**」を狙った地元企業・求人の紹介をし、**継続的に地元企業の「魅力」をアピールする機会を設ける。**

【主な役割分担】 町：町民への周知、国：求人情報の提供、高校、企業との調整 等

【実施概要】

1 隠岐の島町管内「すべて」の高校（3校）の1～3年生を対象に**合同企業説明会**を実施

- ①全体説明・・・壇上で一同に会し、1社1分の自社のアピールを実施
- ②個別説明・・・個別ブースで15分で5回の説明
- ③意見交換・・・終了後、学校関係者と参加企業と意見を行い、その後、関係機関と振り返りの会合を実施。

※ 平成28年度は説明会の中にハローワークコーナーも設置し、雇用情勢や就職活動の方法等の情報提供をする予定。

【参加者（平成27年度）】事業所42社、高校生256名、教職員25名

2 帰省時期（**成人式、GW、盆、正月等**）にUターン求人情報の配布

ハローワークから町に求人情報を提供し、町が求人情報誌を作成。

成人式・・・会場で参加者に求人情報誌を配布

GW、盆、正月等・・・求人情報誌を全戸配布（約7,100世帯）

※ 親が県外居住の子どもに送る荷物の中に、この情報誌を一緒に入れたことをきっかけにハローワークに相談の問い合わせがあった事例あり。

【役割分担】

【隠岐の島町】

- ◆会場設営
- ◆市の広報誌における周知
- ◆広報パンフレットの作成
- ◆関係機関の調整、準備会合

【ハローワーク】

- ◆参加事業所の選定・連絡・資料作成
- ◆管内高校との調整、周知
- ◆アンケートの実施
- ◆当日の運営及び調整

【効果】

- ◆参加者のうち3名の島外就職希望者が島内就職へ変更。
- ◆全戸配布により1名のUターン就職が決定
- ◆事業所の環境や雰囲気などを知った上で応募できる。
- ◆高校生へ直接事業所のアピールができる。



＜隠岐の島町コメント＞

高校生が、島内の採用意欲のある事業所と直接情報交換できることで、事業所の理解促進が図られ、定住促進につながるものと期待している。

＜労働局コメント＞

若年者層には一過性のイベントではなく、継続的に地元企業の魅力をアピールする必要がある。

町と連携することは、成人式における周知や全戸配布による周知が可能になるなど、周知方法の選択肢が大幅に増えるので、Uターン支援には効果的。